

公表

事業所における自己評価結果 (令和6年は利用した児童はいなかったため今回は利用した想定で評価をしました)

事業所名		児童デイサービスあそぼう					公表日	令和7年5月18日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		活動によってスペースをわけている	室内、室外の活動をもっと計画的に行えたらと思っている。まだ利用児童はいないが、今後話し合っていきたい		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		活動によって職員をわけている	大きな活動を行う時は、ボランティア等をお願いしてみたら円滑に支援できると思うので、今後考えてみる		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	5	段差がある箇所は職員みんなで声掛けをして、注意を促している	あそぼうでは段差を意識してほしいので、しっかりととは取り組んでいないが、今後段差に不便な児童が入った場合はいろいろ考えていきたい		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		各児童の好きな遊びを活動に取り入れるようにしている。また、苦手なことを遊びの中で少しでも克服できるように活動を考えるようにしている	保護者からの要望も取り入れながら、子どもたちにあった活動にしていきたい		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	気持ちが悪く落ち着かない時や切り替えが難しい時は個別の部屋に移動してクールダウンをしている	活動の状況によっては個別の環境がとれない場合があるので、各児童の特性を考えながら今後どうしたら状況判断が必要か話し合いたい		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		従業員みんなで話し合うよう、日頃から行うよう心掛けている	話し合った結果が、日頃の支援にいかされているか従業員みんなが確認しあっていく		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎年、自己評価表のアンケートを取り、その意見を参考にして日頃の業務に何が必要か？考えている	保護者から意見を言いやすい環境作りを心掛けていきたい		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎年の自己評価表と毎月のミーティング等で十分に話し合い、業務に対して何が足りないか？何が必要か？考えて日頃の支援に繋げている	話し合いの方法は、ライン等のSNSも活用して行っていきたい		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	第三者の外部評価はあまり行ってない。	第三者の外部評価はどう進めたいか？従業員みんなで話し合っていきたい		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		研修の情報があれば、従業員に報告するようにしている	研修を受けやすい環境作りを心掛けていきたい		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		定期的計画書を見直し、目標達成にむけ日頃支援するようにしている	支援プログラムは目標のハードルをあまり上げすぎないように気を付けている		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		保護者の意見と子供たちの意見、または幼稚園等の意見を聞きながら作成するようにしている	計画書の期限を忘れないよう常に確認するようにする		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		子どもたちの意見やそれぞれの支援方法について、従業員みんなで常に話し合うよう心掛けている	従業員みんなの意見が日頃の支援に繋げられるようにする。一人の意見だけに偏らないよう注意する		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		子どもたち一人一人の課題や目標に沿った支援を日頃から行っている	支援方法は従業員みんな共有して、協力しあいつながって行く		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3	ネットの情報を参考に日頃の支援に取り組んでいる	フォーマルやインフォーマルなアセスメントを使うことがまだまだ出ていないので、今後意識していきたい		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		定期的担当者会議で各関係者の意見を聞きながら、各子どもたちや保護者が今何がベストの支援か？従業員みんなで話し合うようにしている	地域支援や地域連携の部分がまだ弱いのが現状なので、今後どう支援につなげられるか考えていきたい		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		常に話し合っているようにしている	すべての従業員が意見を言いやすい環境を作っていくよう心掛ける		